

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センター
指定管理者名	公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立ふれあいセンター条例及び相模原市立相模の大風センター条例
施設の設置目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の健康の保持及び増進並びに高齢者の福祉の向上に寄与する（相模原市立ふれあいセンター条例第2条）</li> <li>相模の大風文化の保存、継承を図るとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、もって豊かな市民文化の向上に寄与する（相模原市立相模の大風センター条例第2条）</li> <li>相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センターは、直営の新磯こどもセンターを併設している。三施設を合わせた複合施設の愛称を「れんげの里あらいそ」とし、各施設が連携を図ることにより世代を超えた交流の場となることを複合施設設置の目的としている。</li> </ul>
施設概要	所在地：相模原市南区新戸2268番地1 構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート 2階建 面積：れんげの里あらいそ 延床：3,068.40㎡ 敷地：5908㎡ 新磯ふれあいセンター 1,610.95㎡ 相模の大風センター 937.82㎡
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課、南区役所地域振興課

## 2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数	新磯ふれあいセンター（人）	85,301	79,631	62,175	313		
	相模の大風センター（人）	10,262	12,181	10,261	1,419		
	全体合計（人）	95,563	91,812	72,436	1,732		
利用料金	新磯ふれあいセンター（円）	4,778,590	4,519,760	3,740,285	15,375		
	相模の大風センター（円）	366,860	307,825	298,000	0		
	全体合計（円）	5,145,450	4,827,585	4,038,285	15,375		

※新磯ふれあいセンターは令和2年4月1日～令和3年1月3日、令和3年1月8日～3月21日の期間で休所（14日間の開所）

※相模の大風センターは令和2年4月1日～7月9日、令和3年1月8日～3月21日の期間で休所（192日間の開所）

工作室については令和2年7月10日～12月28日を利用中止

### 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
評価対象外	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度のほとんどの期間を休所としたことから、評価対象としない。

<b>指標 1</b>	
指標名（単位）	相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センター施設利用率（夜間を除く）
指標式と指標の説明	専用利用に係る承認件数／専用利用申込み可能件数

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	-	-	63%	64%	65%	66%	67%
実績値（％）	61.9%	58.3%	53.7%	(※1) 13.6%			
達成度（％）	-	-	85.2%	(※1) 21.2%			

※1 令和2年度は開所期間（14日間）の実績値及び実績値

※2 平成30年度までは夜間利用を含めた目標値

### 4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
評価対象外	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度のほとんどの期間を休所としたことから、評価対象としない。

<b>市が指定する事業</b>			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休所に伴い、未実施。			

<b>企画提案事業</b>			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休所に伴い、未実施。			

<b>自主事業</b>			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休所に伴い、未実施。			

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>評価対象外</b>	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度のほとんどの期間を休所としたことから、評価対象としない。

<b>利用者満足度調査</b>	
調査手法/サンプル数	開所日が少なく、定量的なデータが取れないことから中止とした
目標値の基準	90%(利用満足度の設問に対する「満足」と「概ね満足」の合計の割合)

### 新磯ふれあいセンター

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
実績値（%）	98.4%	95.5%	95.7%	—			
達成度（%）	109.3%	106.1%	106.3%	—			

### 相模の大風センター

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
実績値（%）	92.1%	90.6%	93.8%	—			
達成度（%）	102.3%	100.7%	104.2%	—			

<b>その他の取組</b>		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	ご意見箱を設置し、いつでも気軽にご意見を受け付けられるようにした。
事業参加者アンケート	中止	自主事業開催時に参加者を対象にアンケートを実施。受け付けたご意見を参考に、新規事業等に反映した。
施設利用団体連絡会	毎月1日	毎月1日に実施している専用利用の抽選会の際に、団体に対する連絡事項及び団体からのご意見等のヒアリングを行った。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	本体事業収支、全体収支ともに黒字であり、団体本体の経営状況についても特段の問題がないため、「S」評価とする。

### 施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)	67,360	67,845	71,845
指定管理料	62,507	63,794	64,268
利用料金収入	4,828	4,038	18
その他の収入	25	13	7,559
支出 (b)	66,883	67,535	54,892
人件費	27,342	26,521	23,043
本社管理経費	3,943	6,316	4,712
その他の支出	35,598	34,699	27,138
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	477	310	16,953
自主事業収入 (d)	439	851	145
自主事業支出 (e)	868	829	120
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	-429	22	25
全体収支 【(c)+(f)】	48	331	17,072
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の指定管理料返還分488千円については含めていない。</li> <li>・その他収入の増額は、市から協力金2,200千円、コロナ対策補助金2,217千円、国からの助成金3,141千円が交付されたもの。</li> <li>・自主事業収支の減額は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全事業を中止したため。</li> <li>・令和2年度分の指定管理料返還分については現在算定中。</li> </ul>		

### 団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	指定管理者へのヒアリング等により検査を実施
実施時期	令和2年9月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、令和2年4月1日～12月28日及び令和3年1月8日～3月21日にかけて長期休所となったことで、開所した日は数日間となった。財務面では、消耗品費（新聞、雑誌購料）、委託費（館内利用指導業務）、使用料及び賃借料（カラオケ装置賃貸借）などの契約を見直し、支出の減少に努めた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、機能回復機器利用後の消毒、ビニールシートの設置など利用者が安心して来所できるよう環境の整備に努めた。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、制限がある中でも多くの利用者が安心して楽しく過ごせるような「健康で心豊かに安らげる施設」、「人と人とがつながりあう施設」を目指した施設運営に努めていく。

## 9 所管課意見

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度のほとんどの期間を休所としたことから、成果指標の達成度や事業の実施状況等の実績について、本年度のモニタリングでは評価の対象外とした。
- ・施設の再開に当たって、同感染症対策を十分に実施した上で、スムーズに開所した点について高く評価できる。また、休所期間中においては、指定管理料の削減に努めたことについても高く評価できる。（指定管理料の返還額については現在精査中）
- ・今後も同感染症拡大防止に留意しながら、利用者との良好な関係を維持しつつ、コロナ禍の新しい生活様式に即した事業を提案・実施を期待する。

## 10 選考委員会意見

- ・休所期間中において施設の費用削減に取り組んだ点、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し、混乱なく施設を再開した点について評価できる。
- ・施設が長期間に渡って休所したため、利用者の「施設離れ」が懸念される。既存利用者に対して、安心して利用いただける施設であることを訴求していくと共に、地区と連携した積極的な周知活動を行う等、成果指標達成に向けた主体的な取り組みを引き続き推進していただきたい。
- ・大風文化に関する取り組みについては、新調された大風の積極的な活用やPR活動を行っていただき、大風文化の発信に引き続き努めていただきたい。

## 総合評価（自動判定）

評価対象外